

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	オイス工業藤沢工場駐車棟	階数	地上4F
建設地	神奈川県藤沢市桐原町8番地	構造	S造
用途地域	工業地域、法22の指定地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	24,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年4月1日
敷地面積	2,300㎡	作成者	株式会社竹中工務店
建築面積	1,278㎡	確認日	2019年4月4日
延床面積	4,957㎡	確認者	株式会社竹中工務店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 外壁および内装がほとんど無く、更新必要間隔が長い、更新性に優れた建築計画としている。効率的な運用と視環境に配慮した照明計画を行っている。排熱や騒音がほとんど無い空調・換気計画を行っている。		—
Q1 室内環境 —	Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 空地率を大きくし、敷地内温熱環境の向上に努めている。緑地を設けることにより良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー —	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や省水型機器を用いるなど水資源を保護している。発泡断熱材を採用しないなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される